



# 大鋸の丘

2022 (令和4)年3月3日

藤沢市立大鋸小学校

校長 一瀬 今日子



## 春はもうすぐそこまで・・・

いよいよ3月です。明るい日差しに春の訪れを感じます。

6年生は、昨年の八ヶ岳体験教室中止、そして、9月の日光修学旅行が延期となり、3度目の正直、3月1日・2日と冬の日光修学旅行に行くことができました。これまでにない雪残る日光の景色は、小学校生活の大きな思い出になったことでしょう。

今年度も、残りあとわずかとなりました。オミクロン株のピークアウトがもっと早いのではないかと、希望的観測は外れ、せっかく予定していましたが、授業参観は、残念ながら中止といたしました。参観がなくても、子どもたちの一年間のまとめの活動として、各学年の先生たちは、子どもたちとあれこれ計画を練り、学習活動に取り組んできました。

1年生は、音読劇。2・3年生は、歌と合奏。4年生は、2分の1成人式。5年生はSDGsについての調べ学習。6年生は通常の授業を予定していましたが、日々、卒業に向けての取り組みです。

この1年も、コロナ禍で様々な形を変えながらの学校生活でしたが、スポーツフェスティバル、そして、いろいろな発表会と、“誰かに見てもらう”、“ゴールがあって、そこに向けて頑張る”という機会は、子どもたちを大きく成長させました。すでに、何学年かは発表会を行いました。緊張で涙する子、頬を染めて一生懸命に取り組む子、満面の笑みで楽しむ子など、一人一人様々ですが、その姿を見ながらみんな1年前から大きくなったなど、しみじみ感じてしまいます。大人の1年は、頑張ってもなかなか成長しませんが、子どもの1年の成長は、なんと大きいことでしょう。

せっかくなので、何らかの形での保護者の方々に向けて発表をということで、3年生・4年生は、子どもたちだけで体育館で発表し、その動画を一人一人のPCのClassroomに貼り付け、家に持ち帰りご家族のみなさんで鑑賞していただくことにしました。是非、練習の過程についても、お話を聞いてみてください。

保護者の皆様には、今年度も、コロナウイルスの対応、様々な変更等、振り返るとお願いばかりの1年間でした。多くのご協力とご理解をいただいたことに、心から感謝いたします。ありがとうございました。新年度、新たなスタートに向けて、子どもたち一人一人がキラキラ輝く笑顔でスタートできるよう、願っています。

## 欠席・遅刻連絡フォームの試行について 【試行期間3/1～3/25】

2月25日付け文書でもお知らせしましたとおり、欠席や遅刻の連絡について、学校HPからの連絡フォームを活用した取り組みを試行いたします。

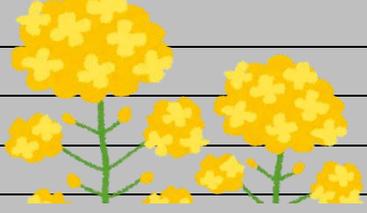
学校の電話の外線は1回線ということで、欠席等の連絡については、原則連絡帳をお願いしてまいりましたが、様々な感染症での欠席など、連絡帳の受け渡しが難しい時にはお電話での連絡をお受けしていただきました。しかし、電話も特に休み明け等は、大変混雑し、ご迷惑をおかけしてまいりました。試行期間、連絡帳・電話と併せてフォームもご活用ください。

【学校教育目標】 「自らの体験を通して 伸びようとする子どもの育成」

【めざす子どもの姿】 元気な子 よく考える子 ねばり強い子 思いやりのある子

《今年度スローガン》 **笑顔いっぱい いきいき大鋸小**

## 3月行事予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	火	6年生日光修学旅行(1日目)	17	木	SC お別れ式 卒業式前日準備
2	水	M 6年生日光修学旅行(2日目)	18	金	第41回卒業式(1年~5年休業日)
3	木	SC FLT	19	土	校庭開放
4	金	M FLT	20	日	
5	土	校庭開放	21	月	春分の日
6	日		22	火	SC
7	月	M FLT	23	水	M
8	火	SC FLT PTA 運営委員会	24	木	SC
9	水	M FLT (中学校卒業式)	25	金	修了式・離任任式
10	木	SC FLT	26	土	春休み(3/26~4/5)
11	金	M FLT	27	日	
12	土		28	月	
13	日		29	火	
14	月	M FLT	30	水	
15	火	FLT 5・6年引き継ぎ式	31	木	
16	水	給食終了 卒業式予行練習			

※ M…モジュール授業、 SC…スクールカウンセラー来校日

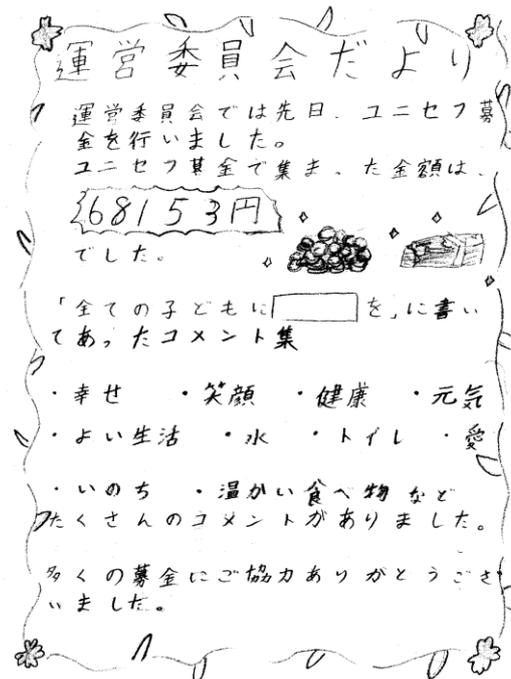
### 4月の主な行事予定

- ・ 4 / 6 (水) 始業式・着任式・入学式
- ・ 4 / 7 (木) 離任任式
- ・ 4 / 8 (金) 計測6年
- ・ 4 / 11 (月) 2年~6年給食開始 計測5年
- ・ 4 / 12 (火) 計測3年
- ・ 4 / 13 (水) 計測2年
- ・ 4 / 14 (木) 計測1年
- ・ 4 / 15 (金) 計測4年 全学年尿検査  
5・6年懇談会
- ・ 4 / 19 (火) 6年生全国学力学習状況調査  
3・4年懇談会 聴力検査5年
- ・ 4 / 20 (水) 1年生給食開始 1年心電図検査
- ・ 4 / 21 (木) 聴力検査3年
- ・ 4 / 22 (金) 1・2年懇談会 聴力検査2年
- ・ 4 / 25 (月) 内科検診6年
- ・ 4 / 26 (火) 聴力検査1年
- ・ 4 / 27 (水) 委員会 視力再検査1・2年
- ・ 4 / 28 (木) 視力再検査3年

★4月行事は暫定版です。変更の可能性があります。

### ユニセフ募金ありがとうございました

5・6年生運営委員会の募金活動に、たくさんの方の児童・保護者の皆様からの善意の気持ちが集まり、68,153円となりました。



## 2021年度 よりよい学校づくりのためのアンケート結果と考察

今年度も、3年生・5年生の児童と保護者、教職員を対象に、よりよい学校づくりのための学校評価アンケートを実施いたしました。保護者の皆様には、お忙しい中、ご回答いただきありがとうございました。昨年度までは、紙面のマークシートでご回答いただきましたが、今年度は、WEBでのアンケートを実施いたしました（ご希望の方には紙面で実施しました）。ただ、残念なことに、保護者の皆様の回答率が、これまではほぼ100%に近いものでしたが、3年生は、約80%、5年生は、約75%と、低い数値となってしまいました。是非、多くの保護者の皆様のご意見を伺いたく、来年度の3年生・5年生の保護者の皆様にもお願いいたします。

昨年度から引き続くコロナ禍の中、授業参観等、来校していただく機会が少なかったことや、地域行事も開催されないなど、通常の学校・地域の在り方とは異なる状況ではございます。しかし、その中で、子どもたちや保護者の皆様が、学校生活をどのように感じ、捉えているかについてのアンケート結果を受けて、課題については改善に努めながら、今後の教育活動に活かしてまいります。

【児童アンケートの結果より】 3年生・5年生の児童を対象にアンケートを実施しました。

《1：そう思う 2：ほぼそう思う 3：あまり思わない 4：思わない 5：どちらとも言えないよくわからない》

質問領域等	番号	質問項目	学年	1	2	3	4	5
元気な子	1	学校では、友だちと元気に遊んだり勉強したりしている。	3年	68%	27%	3%	1%	1%
			5年	61%	29%	4%	3%	3%
よく考える子	2	勉強でも生活でも、よく考え、けじめのある行動をしている。	3年	36%	50%	12%	1%	2%
			5年	32%	45%	17%	2%	5%
ねばり強い子	3	できないことがあっても、あきらめずにできるまで頑張ろうとしている。	3年	67%	21%	6%	3%	2%
			5年	50%	36%	8%	5%	2%
思いやりのある子	4	誰にでも優しく、思いやりの気持ちをもって行動している。	3年	45%	36%	7%	1%	11%
			5年	52%	30%	12%	2%	4%
生活	5	先生や友だちに、進んであいさつをしている。	3年	41%	38%	14%	3%	3%
			5年	55%	31%	11%	2%	1%
	6	係や当番(委員会)などの仕事を、忘れずに行っている。	3年	55%	38%	3%	1%	2%
5年			62%	34%	2%	2%	0%	
7	学校のきまりを守っている。	3年	42%	45%	7%	1%	4%	
		5年	37%	52%	7%	2%	2%	
学習	8	毎日の学習は、だいたい理解できている。	3年	56%	33%	7%	2%	1%
			5年	66%	23%	6%	5%	1%
相談	9	何でも話したり、話を聞いてあげたりする友だちがいる。	3年	73%	19%	3%	3%	2%
			5年	72%	16%	8%	3%	1%
10	学校には、こまったときに、話を聞いてくれる先生がいる。	3年	60%	23%	5%	3%	9%	
		5年	50%	20%	15%	10%	6%	
情報	11	家族に学校の様子を話している。	3年	55%	32%	8%	2%	2%
			5年	61%	28%	6%	4%	2%

- ・概ねどの項目においても、1・2の評価を合わせると、8割～9割となり、肯定的な評価でした。
- ・項目1「学校ではともだちと元気に遊んだり勉強したりしている」という質問に、「はい」と答えている児童が約9割以上いることから、コロナ禍での学校生活でしたが、多くの児童は、日常の学校生活の中で、友だちとの関わりや、学ぶことを通して、活気のある学校生活を送っていたと考え

られます。しかし、平均してクラスに1～2名の児童が、「あまり思わない」「思わない」と答えています。その児童に目を向けていく必要があります。

- ・項目2「よく考えはじめのある行動をしている」では、8割程度の児童が肯定的に捉えている中で、「そう思わない」と答えている児童も少なくありません。学習面でも生活面でも、言われてから行動するのでなく、自ら考え、判断して行動できるような指導に努める必要があると考えます。
- ・項目3「できないことがあってもあきらめずにできるまで頑張ろうとしている」については、昨年度の結果を上回っている項目です。児童が粘り強く取り組むためには、本人の努力はもちろん、教師や保護者等、身近な人の励ましや支援が必要と考えます。教師のアンケートで、「児童が最後までやり遂げられるよう継続した支援を行っている」の数値が昨年度よりも上がっていますが、そのこととも関係づけられます。
- ・項目5「先生や友だちに進んであいさつをしている」では、多くの児童が「している」と答えている一方、「あまりしていない」と答えている児童も少なくありません。子どもたちは、教師からあいさつをされれば返すという受け身が多いようです。”自ら進んで“となると、難しいところでしょうか。自らあいさつをすることの気持ちよさを感じて欲しいです。
- ・項目6「係や当番（委員会）などの仕事を、忘れずに行っている」について、特に、多くの5年生が例年よりも肯定的に捉えています。学校生活の中で、学習や友だち関係に加え、係や委員会の仕事にも、楽しみややりがい、そして責任感をもっていることが分かります。
- ・項目8「毎日の学習は、だいたい理解できている」では、「思わない」児童が昨年度より増加しています。本校の校内研究では、“学びを楽しむ”授業づくりとして、「チャレンジできる課題」「追求できる課題」を取り入れています。その課題を解決する過程で、基礎学力というツールが不十分であることで、つまづいてしまう場面が見られます。本校では、担任だけでなく、1年生サポーター、介助員、学習指導員、学生ボランティア等がティームティーチングとして教室に入り（決して十分な時間ではありませんが）、児童のサポートをしています。少しのサポートで、児童の思考が継続されることは大いにあります。今後も分かりやすい授業、達成感を味わえる授業づくりに努めるとともに、児童が困っているタイミングを見逃さないためにも、個別への手立てにも視点をあて取り組んでいきます。
- ・項目10「こまったときに話を聞いてくれる先生がいる」について、肯定的な児童も多い中、特に5年生では、否定的な児童がいることに目を向けなければなりません。5年生という発達段階で言葉に出せない悩みが増えることは、ある程度自然な現象とも捉えられます。誰かに話したい、大人に話したいと思う児童が多いとも考えられます。また、40人のクラスという影響もあることでしょう。学校には、担任の先生だけでなく、児童支援担当の先生やスクールカウンセラーなど、いろいろな先生がいます。気軽に相談できるよう、声をかけていくよう努めます。また、ご家庭でも、学校の様子等について話す機会を作ってあげてください。
- ・項目2・4・5・8などの結果について、子どもたちが、「できていない」「あまりできていない」と捉えていることについては、ある意味、児童が過信しすぎず、しっかりと“自覚している”という見方もできます。子どもたちの“伸びしろ”といってもいいでしょう。この子どもたちの“自覚”や“伸びしろ”に、教師としては、しっかりと働きかけ、「できる」と感じさせるチャンスです。「できない」「困った」と素直に表出できている子どもたちに、学校は手を差し伸べて行かなければいけません。

## 【保護者アンケートの結果】

3年生・5年生の保護者を対象にアンケートを実施しました。

《1：そう思う 2：ほぼそう思う 3：あまり思わない 4：思わない 5：どちらとも言えないよくわからない》

質問領域等	番号	質問項目	学年	1	2	3	4	5
教育目標・指針	1	学校は、教育目標や指針を分かりやすく示している。	3年	24%	50%	12%	3%	10%
			5年	27%	52%	12%	3%	5%
生活	2	子どもは楽しく学校に行っている。	3年	58%	35%	5%	1%	1%
			5年	55%	35%	7%	1%	2%
	3	子どもは家庭や地域で、進んであいさつをしている。	3年	22%	45%	20%	7%	5%
			5年	32%	56%	7%	1%	4%
4	子どもが食事や睡眠など、規則正しい生活をするよう促している。	3年	44%	52%	2%	0%	2%	
		5年	46%	48%	3%	1%	1%	
学習	5	学校は分かりやすい授業に努めている。	3年	34%	51%	7%	2%	6%
			5年	33%	48%	8%	2%	9%
	6	保護者は、子どもの家庭学習に協力している。	3年	32%	52%	11%	0%	5%
5年			32%	46%	14%	1%	7%	
7	子どもは学習をだいたい理解している。	3年	29%	59%	5%	2%	5%	
		5年	25%	59%	8%	4%	3%	
相談・支援	8	学校は保護者が相談できる体制を整えている。	3年	31%	43%	14%	3%	9%
			5年	25%	48%	11%	2%	13%
9	学校は、子どもの話をていねいに聞いている。	3年	29%	50%	9%	2%	10%	
		5年	26%	43%	14%	1%	15%	
情報	10	学校は、適切な情報発信に努めている。	3年	34%	50%	6%	4%	6%
			5年	25%	56%	7%	3%	9%
	11	子どもから、学校の様子を聞いている。	3年	40%	50%	6%	1%	3%
5年			44%	46%	8%	0%	2%	
12	保護者は、学校や学年からのたよりを読んでいます。	3年	58%	38%	3%	0%	1%	
		5年	64%	32%	4%	0%	0%	
安全	13	学校は、子どもの安全・防災・防犯等、子どもの安全確保に努めている。	3年	42%	43%	4%	1%	10%
			5年	32%	52%	8%	2%	7%

- ・項目1「教育目標」や「教育方針」等については、保護者の皆様に直接お伝えする場面はなかなかありませんが、今後も毎月の学校だよりや大鋸小学校HPでもお示していきます。ご覧ください。
- ・項目3「家庭や地域で進んであいさつをしている」については、特に、3年生でできていないとお感じになっている保護者の方が多いです。あいさつは人と人とのつながりの第一歩です。児童の結果（項目5）とも共通するところもあり、学校、家庭の両方で声をかけていければと思います。
- ・項目6「子どもの家庭学習に協力している」は、今年度新たに設定しました。多くの保護者の方々に、学校からの宿題等、ご協力をいただいていることが分かります。一方、あまりご協力をいただいていないという数値も少なくありません。低学年はもちろんですが、高学年になっても、学習に取り組む際、時には隣に座って見届けてあげてください。また、ノートを見てあげることも大切です。そうすることで、お子さんの学習の取り組み状況や理解度が見えてきます。丁寧な取り組みには、たくさん誉めてあげてください。また、つまずきが見えた時には、小さいうちのサポートを是非お願いいたします。子どもたちにとって、保護者の方に誉められること、見てもらうことは、一番のご褒美です。大きな意欲につながることでしょう。
- ・項目8・9「相談・支援」の体制について、全体的には、肯定的に捉えている方が昨年度よりも増

加しています。しかし、「あまり思わない」と捉えている方も多くいらっしゃいます。**児童の結果（項目10）**とも関連しています。コロナ禍で学校に来ていただく機会が減り担任にも話しにくい、また、電話も17時までとなり、相談しづらいなどの状況も考えられます。学校では、担任以外にも、児童支援担当教諭（今年度は、酒井教諭）、管理職、スクールカウンセラー等、でご相談をお受けいたします。また藤沢市では、「藤沢市いじめ相談メール」「藤沢市いじめ相談ホットライン」「藤沢市学校教育相談センター」「24時間子どもSOSダイヤル」が利用できます。いずれも藤沢市のHPから検索できます。また、1人1台端末を利用した、「藤沢市子ども相談フォーム（新年度再開）」もあります。

- ・**項目11「子どもから、学校の様子を聞いている」**については、肯定的に捉えている方が昨年度よりも大きく増加し、**児童の結果（項目11）**とも共通しています。**項目12**では、学校だより、学級通信など、学校からの情報に対し、多くの方が目を通していただいている様子を、大変ありがたく思います。そのような情報を元に、学校の様子についてお子さんとコミュニケーションを図っていただき、その中で気になることなどありましたら、ご相談ください。

### 【学校の自己評価】 教職員のアンケート結果を基にした自己評価です。

- ・昨年度に引き続き、大きな行事はこれまで通りの実施とならないことや、延期や中止となったものもありました。しかし、コロナ禍2年目となり、状況を見通しながら、「これならば実施できるのではないか」とあらかじめ想定して企画するものもありました。子どもたちの楽しく充実した学校生活の保障については、昨年度以上に職員が知恵を絞り、力を入れてきたところです。大きな行事だけでなく、日常の学校生活でも子どもたちが「楽しい」と笑顔になれる学校づくりに今後も取り組んでまいります。
- ・今年度のスローガン「あいさつでつながろう 大鋸小」のもと、各学級や児童会の活動でもあいさつの指導に力を入れてきました。また、「おはようボランティア」や「村岡あいさつ運動」、「大鋸東町防犯部」など地域の皆様にもご協力をいただき、気持ちのよいあいさつをする姿が見られます。今後も“自ら、進んで”あいさつができる児童の育成に努めてまいります。
- ・児童のよりよい指導や支援の実現に向けては、多くの場合、児童支援担当教諭を中心として、複数の職員で相談しながら進めてまいりました。今後も教職員間で情報共有を図り、児童の指導や支援の充実に努めてまいります。
- ・情報発信については、学校に来ていただく機会が少なくなったことで、学級通信や、各家庭との電話でのやりとり、また、その時々での面談など、特に意識し取り組んでまいりました。また、2学期の個別面談では、2学期末のまとめの時期にずらしたことで、学習の様子についての具体的な情報をお伝えすることができました。また、1人1台端末を利用した、新たな情報の発信も可能となりました。コロナ禍において、緊急の連絡も多くなりましたが、今後も学校だより、HP、連絡メール等、適切な情報発信に努めてまいります。
- ・昨年度から引き続き、校内研究では、「全員参加の授業」をめざし、取り組んでまいりました。一人一人に目を向け、大切に思い、温かい言葉かけをしながら教育活動に努めるとともに、どの子ども最後までやり遂げられるよう、継続した支援を行ってまいりました。今後も、この視点を大切にしていまいります。